

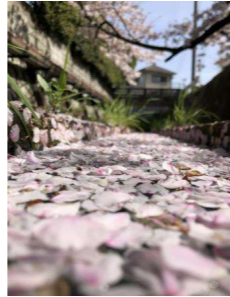





令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧





番号	エピソード	写真
1	『春の久米田寺』 月に1度 お参りに行きます。春はサクラが咲き 1番ほっこりする時期のお寺参りになります。(56歳男性)	
2	『朝霧に包まれた岸和田城』 その日も市場に野菜の仕入れに行っていました。段々と海の方から霧が発生。前方の信号もかすんで見えます。ゴールデンウィーク明けで忙しいのですが、気持ちをはやり、仕入れは簡単に済ませて、岸和田城へ結果がこの写真です。雪の積もったお城は何度も見た事がありますが、こんな霧に包まれた岸和田城は初めてでした。スマホで数枚撮影しました。数時間後には 見事な晴天になっていました。梅雨入り前に 気温も高くこのような現象が起こったのだと思います。不思議な空間でした。(58歳男性)	
3	『桜 上を向いての花見、シーズンが終わったら 今度は下を向いて』 ここは 城見橋 桜も終わりで、ふと 橋の上から山手を見ると、桜の下に綺麗な花びらが落ちています。 小さな溝に綺麗に並んでいたの、撮影しました。(58歳男性)	
4	『令和の初日の出』 2021年の始まりを象徴したような初日の出になりました。(46歳男性)	
5	『春の訪れ』 コロナ禍で生き苦しい世の中でも、自然の中はいつもどおり、のどかなーと撮影しました。(46歳男性)	
6	『かすむ港』 北阪八幡宮の眺望台からの景色です。みんなこの中で生活しているんだなーと思いました。(46歳男性)	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
7	『夏盛り』 岸和田の街の中の雄大さを感じる風影だと思います。(46歳男性)	
8	『台風爪跡』 久米田池を歩いていると木が倒れ一輪のショウブがむなしく咲いていた(85歳男性)	
9	『お地藏さん』 田舎の幼い頃の地藏盆の思い出(85歳男性)	
10	『小さな命』 可愛らしい赤ちゃんカモ誕生(85歳男性)	
11	『梅雨の谷間』 とんぼ池公園のあじさい園に行きモデルさんが写真撮り(85歳男性)	
12	『池に映る朝日』 早朝池を歩いていると木の間に太陽が出ていい景色(85歳男性)	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
13	『望郷』 私は岸和田市に在住して居りませんが、家内の実家が岸和田（本町）です。城下町の風情の感じられる所です。今まで祭りの当日、お城に入れる事が知りませんでした。天守閣には何度も登っていましたが、当日初めて登りました。江戸時代に殿様も同じような風景を眺めていたのかと思うと何となく楽しくなっていました。チャンスがあれば是非登ってみて下さい。（79歳男性）	
14	『工業の町岸和田臨海町』 何気ない工場の外観、無機質な中にもテーマパークやアニメ「ハウルの動く城」などを思い出させるような動きを感じる雰囲気がとても好きです。改めて、岸和田が工業の町である事も実感できる場所。（59歳男性）	
15	『岸和田駅屋上より』 岸和田駅の屋上駐車場に車を止めた際、岸和田駅前のきれいな眺望が目に入り、思わず写真を撮りました。昔と比べ新しい建物が建ったり、自転車専用レーンができたりと少しずつ町の様子にも変化が出てきているように感じます。今後も駅前空間が変わっていくと思いますが、現在の様子をこころに残る眺望景観に残していけたらと思います。（33歳男性）	
16	『岸和田港を望む』 カンカンベイサイドモールを奥に行った所に広場があり、そこから岸和田港を望む写真です。左側には阪神高速の大きな橋と、岸和田港を象徴するモニュメントとして大きな錨があり、右側には岸和田水門が見渡せます。広場は定期的に草が刈られており、バーベキューをしている市民もよく見かけます。（33歳男性）	
17	『神於山展望台から』 神於山には、過去に数回登ったことがありましたが、7月中旬、サイクリングでチャレンジしました。展望台まで行くには、かなり急な坂道で自転車を降りる羽目となり、大きな荷物を押しての登山となりました。途中、手も離せない状況で耳元に虫がちょっかいをかけてくるので、自転車で来たことを後悔しましたが、展望台に上って市内を見渡した時、その苦労が吹き飛び、帰りの下り坂は爽快な気分となりました。（49歳男性）	
18	『地獄坂から見る久米田池』 地獄坂は岡山町の高台に続く坂道になっています、途中振り返ると眼下に見える久米田池の風景はとても良い眺めだと思います。（49歳男性）	

番号	エピソード	写真
19	『塔原町のサクラからの眺め』 7月中旬、サイクリングで塔原町のサクラの地を訪れました。360°山に囲まれたこの場所は、春だけでなくとてもいい景色です。サクラは、いつもこの眺望を楽しんでいるのです。（49歳男性）	
20	『内畑町の橋から』 サイクリングの途中に島を発見？内畑町には牛滝川に囲まれたところがあり、島国にきたかと錯覚する場所があります。フェンスや、電柱もないので、いい景色だと思います。（49歳男性）	
21	『蜻蛉池公園の大芝生広場』 緊急事態宣言の合間に訪れた、蜻蛉池公園の大芝生広場です。広大な敷地一面が芝生になっており、ソーシャルディスタンスも保たれこの時期のレジャーには最適。芝生に寝っ転がると、とても気持ちがいいです。（49歳男性）	
22	『蜻蛉池公園の展望台』 蜻蛉池公園の展望台から下を眺めると、芝生の広場などの緑が一面に広がっており、遠くに神戸まで見ることが出来ます。ここからの景色を眺めていると、日常を忘れさせられるような気分になりました。（49歳男性）	
23	『畑への向かう道から』 畑へ向かう途中の写真です。虹が出ていましたので、思わず写真を撮りました。（72歳女性）	
24	『愛彩ランドの道』 今は、足が痛くて歩くことはできなくなりましたが、昔はよくここをジョギングして通りました。あの頃は、市内、市外にかかわらず、よく走っていたなあ。（51歳男性）	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
25	『初日の出』 初日の出を見るため、1月1日の夜明け前からランニングに出かけ、どこで見ようかと探し回り、ようやくため池付近の高台を見つけて、そこからひとりぼっちで見た初日の出です。(51歳男性)	
26	『私のランニングコース』 私は休日、土生中学校周辺を中心にランニングをしています。途中に中嶋池があり、ここから見える緑豊かな神於山の山並みが美しく風がスーと吹くと心地よく疲れをやわらげてくれます。(56歳男性)	
27	『岸之浦大橋からの眺望』 ここからは、岸和田の海も山も街も、そしてお城も一望できます。遮るものはなく、海の上に立つ気分です。元旦には葛城山からの初日の出、初夏には明石大橋へ沈む夕陽。岸和田大橋と朝陽のコラボも抜群です。(60歳男性)	
28	『岡山御坊から岸和田池を望む』 急坂を登り、その昔一大勢力を誇った岡山御坊の跡地を訪れた時、黄金塚の高台から久米田池を一望できるスポットがあります。時の経過とともに街並みは変わってもこの景色は不変のものであると感じる眺望景観だと感じました。(48歳女性)	
29	『岸和田のパノラマ』 岸之浦大橋から見える岸和田市は、漁港から岸和田城、神於山から和泉葛城山を一望することができる絶好の眺望景観です。(48歳女性)	
30	『夕暮れ』 土生滝町の高台にある宝照寺を目指した散歩道。阿間河滝町の街並みを象徴する屋根瓦と夕日のコントラストが美しく、印象的な眺望景観だと思いました。(48歳女性)	



令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
31	『白灯・赤灯、その先には・・・ゆっくりとした風景変化が』 ・40年以上も、飽きないこの360度パノラマを見ています。特に白灯からの海を眺める260度風景 ・岸和田のまちなみ・山並みは勿論のこと淡路島、神戸を見渡せます。そして時代の流れとともに、その後方には、湾岸線の大橋、清掃工場、遠くは、関西空港連絡橋、関西空港、鳴門大橋が建設されてきましたが、昔ながらの風景に溶け込んで、いつからあったかなと思います。遠くの風景に変化がありますが、ふと足元を見ると、いつの時代になっても変わらない釣り人がいます。1場所で、季節・時間・方向により多彩な顔を見せてくれるとても心が落ち着く眺望景観です。(53歳男性)	
32	『瓦屋根のまちなみ』 城周辺では、お城、お堀、二の丸公園、樹木、石畳、各建物、まちなみと色々な景観要素がありますが、二の丸公園から眺める本町も格別です。周囲は、次々と現在風の建物へと変化していく中、町並み保全の取組みもあり、今なお昔と変わらない瓦屋根が広がる、私にとってはこころ和む「景色」となっています。(53歳男性)	
33	『高架橋を進んでいくと』 ・車で出かけた帰り道、ここを通ると「帰ってきたな」と思う私のお気に入りスポットの一つです。・道路と空しか目に入らない中、車窓からなので短時間ですが、この地点に來るとパッと市街地と神於山をはじめ山並みが広がり、空とのコントラストが印象的です。・特に雨の日の後は市街地の無機質さと山の鮮やかな緑、澄み切った空、雨天時は山間に雲がかかり山頂が雲・霧から顔を出さず、夏季は真っ青な空に入道雲が現れ、より迫力を感じるなど、天候や季節により色々な顔を見せてくれます。今日は、どんな顔が見えるかな。変化する顔は、決して簡単に見える、気づくものではありません。(53歳男性)	
34	『阪南2区人工干潟と阪南港』 阪南2区人工干潟は、岸和田市唯一の干潟で大阪湾にすむいろいろな生き物を見ることが出来る貴重な場所となっています。きしわだ自然資料館主催の観察会も定期的に実施されています。また、大阪の経済・産業活動を支える阪南港へと繋がる眺望は、自然環境の創造と社会活動の融合した景観を創出しています。(59歳男性)	
35	『散歩している畦道』 いつも散歩する額原町の彼岸花とザクロのある畦道です。(54歳女性)	
36	『ハッピー景観①地蔵浜の夕景』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！(79歳男性)	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
37	『ハッピー景観②春木港の夕景』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。 晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）	
38	『ハッピー景観③岸和田カンカンリバーサイド』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。 晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）	
39	『ハッピー景観④阪高岸和田大橋の夕景』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。 晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）	
40	『ハッピー景観⑤岸和田カンカンリバーサイドの日の出風景』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。 晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）	
41	『ハッピー景観⑥地蔵浜の夕景』 健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。 晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）	
42	『木材町の貯木場周辺』 木材町の貯木場周辺は様々な景観が楽しめる絶景ポイントです。 貯木場の見慣れないブロックや夕日、たくさんのカモメ、近隣の工場の雄大な姿。灯台。釣り人。季節や時間を問わず見どころがあるスポットだと思いますので一度足を運んで頂きたいと思います。（35歳男性）	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
43	『ひまわり』 久米田池沿いに咲いている花がとてもきれいだった（28歳男性）	
44	『久米田寺の景色』 久米田寺周辺は池があったり、お寺がたくさんあったりして、とてもいい場所（76歳男性）	
45	『福田から土生へ抜ける景色』 細い山道を抜けたあとのひらけた景色。 小学生当時は、小学校区から出るという新鮮な景色だったように思います。（39歳男性）	
46	『時と共に変わる風景』 今は住宅も増え、景色も変わりましたが、昔は山の手前は田んぼの広がる景色だったと思います。当時、写真に見える光明小学校から山なみや田んぼを眺める絵を描いた記憶が思い出されます。（39歳男性）	
47	『蜻蛉池公園 展望台』 トンボの遊具や大芝生広場は知っている人も多いと思いますが、展望台があるのをご存知でしょうか。 展望台の上からは公園の風景を360度見渡せ、天気の良い日には明石海峡大橋が見えます。（44歳女性）	
48	『神於山』 たまたま通った道で、見晴らしがよかったので思わず撮りました。神於山にはいくつかの昔話があるらしく、神秘的な雰囲気は昔も今も変わらないのかなと感じました。昔の人もこの山を大切にされていて、「神於山」という名前を付けたのかなと思いました。この景観は、世代を超えたみんなのこころに残る景観だと思ったので、これからも大事にしていきたいです。（32歳女性）	

令和3年度「こころに残る眺望景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
49	『バイキンマン 山に行く』 手作りのバイキンマンを映り込ませて、山を撮った。バイキンマンが飛んでいるように見えるのがポイントです。(21歳男性)	
50	『山の眺め』 岸和田の愛彩ランドからの撮影池がハートに見えるのがポイント(61歳男性)	